

## Ⅱ 相模湾・東京湾水産海洋調査研究に関する座談会

主 題 相模湾・東京湾（駿河湾を含む）に関する水産海洋調査研究について

日 時 昭和42年7月3日（月） PM. 1.00～5.00

場 所 東海区水産研究所 第2会議室

コンビーナー 平 野 敏 行

出席者 約40名

話題および話題提供者

i) 伊東における定置水温の特徴について

山田 万樹（代読早野了介）（静岡水試伊東分場）

ii) 三崎の海況について

小金井 正 一（神奈川水試）

iii) 東京湾金沢地先ノリ養殖場の環境

石 野 誠（東京水産大学）

iv) 最近における千葉県沿岸の水質について

関 達 哉（千葉内湾水試）

v) キンメダイの資源調査研究の現状

木 暮 俊 和（神奈川水試）

vi) 相模湾における浅海系及び深海系の底棲動物相と海底地形・底質・海況との関連について

堀 越 増 興（東大海洋研）

vii) IBP計画について

宝 月 欣 二（都立大学）

（尚、ii）及びvi）の話題は未掲載）

### 1 伊東における沿岸定置水温の変化の特徴について

山 田 万 樹（静岡水試伊東分場）

伊東における沿岸定置水温の変化の特徴について調べたものであるが、資料は当分場が伊東港外で実施している昭和27年～41年までのものと気象庁網代測候所伊東分室が実施した昭和7年～26年までのものを用いて、月別に水温の7ヶ年の移動平均値をとり、その経年変動について考察した。また、異常冷水温の出現について、水温の周期性や変動傾向から、その出現の予察の可能性を見出した。

(1) 月別水温の経年変動について

1月：約25年を周期とする周期性がみられる。極大年は昭和7年頃と31年で、極小年は昭和20年である。

2月；1月とほぼ同様に約25年を周期とする周期性がみられる。極大年は昭和7年頃と32年頃で、極小年は昭和20年頃である。